

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南省市石部南 3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-69-7068

西寺地区の伝統行事「いもち送り」に、まち協も参加しました。

7月17日（土）午後6時30分、参加者全員が氏神(三聖神社)にお参りし、御神酒で清めました。その後、御幣を持った氏子総代を先頭に、鐘と太鼓のリズムに合わせて「いもち送っくればい、とっとと送っくればい、鐘について送っくればい」と元気な掛け声を青田一帯にひびきわたらせ、五穀豊穡を祈る行列は続きました。まち協の呼びかけに参加した人たちは、幻想的な伝統行事を堪能しました。



【由来】

「約300年前からの伝統行事で、松明(たいまつ)を燃やして田んぼ道を行列し、虫を誘いこんで殺しながら村のはずれの地点まで送り出してしまおうという、信仰的な行事です。



東寺の「いもち送り」

7月21日（水）午後6時30分に白山神社に集合お参りの後、東寺総代の提灯を先頭に出発。それを元火に参加者の松明に次々と点火して総数30松明が田んぼ道を広野川（尾崎地先）まで「いもちおっくればい」と連呼しながら練り歩き（約1.5km）、豊作を祈りました。



「湖南省市まちづくり協議会」アドバイザー制度が発足！！

湖南省市では、平成22年度の協働による「まちづくり」の支援と促進策の一環として、このほど、担当職員を各まち協に配置する「アドバイザー制度」を設置しました。

☆ 石部南学区まちづくり協議会のアドバイザーは次の人たちです。



- | | | |
|------------|-----|------|
| ◎チーフアドバイザー | 岡田 | 茂一郎氏 |
| ○サブアドバイザー | 三善 | 正二郎氏 |
| 担当 | 三大寺 | 芳昭氏 |
| | // | 中川 |
| | // | 前田 |
| | // | 西尾 |
| | | 孝氏 |

石部南学区まちづくり協議会各部会の活動報告

総合

◆来たる11月7日(日)9:30~15:00に開催する'2010ふれあい祭り'実行委員会が、7月に発足。具体的な検討は次回の運営委員会8月18日(水)

①組織②イベント③模擬店④予算などの内容を決定する予定。また、同ふれあい祭り当日に、「スポレク部会」では、学区内グランドゴルフ大会を計画しています。詳細については、次回、広報第11号(10月発行)にて掲載します。

◆この10月3日(日)には、地域の安全・安心を啓発するため、石部南小学校運動場で防災訓練を実施します。

なお、当日は、起震車による阪神淡路大震災規模の地震体験コーナーも計画しています。



人づくり部会

1. 声掛け・あいさつ運動の標語ポスター

を小学校、幼稚園、保育所に依頼中で、11月のふれあい祭りに展示を計画しています。

2. 第1回の地元学講座

「防災」をテーマに8月28日に開催します。各自治会回覧を通じてご案内いたします。隣近所お誘いあわせのうえ多数の参加を、お願いいたします。

里山小川部会

ホテル飛翔への取り組みを継続中です。

広報部会

広報紙の内容を一新し、住民本位の紙面づくりと身近な情報提供に心掛けています。

この7月28日(水)には、広報部会員によるホームページ勉強会を実施、8月22日には、2回目を計画しています。

地産地消部会

大好評「新鮮・安心・安全な農産物の販売を計画しています。石部南学区でとれた野菜・果物・漬物・お米などを販売します。

☆ 夏祭り開催日に合わせ実施。

◎宮の森区 8月21日(土) ◎宝来坂区 8月22日(日)

いずれも 16:00~19:00の間販売。

(売り切れ次第終了としますので
早い目に購入して下さい。)



文化芸術部会

5月23日

(日)19時から石部南まちづくりセンターにおいて地元歴史資料家の竹内 利夫氏を講師に招き、「紫香楽宮と石部金山」の勉強会を実施しました。

(参加者14名)

また、7月17日(土)13時30分から西寺よい子の広場に於いて「いもち送りに使用する松明づくり」に挑戦。7人の参加があり、竹内 道治氏の指導のもと、31本の松明を製作するとともに、18時30分からの「いもち送り」の行列にも参加して、貴重な体験をすることができました。





まち協、委託事業で『センター前の植木選定』実施。

7月21日に、市よりの委託事業（植木剪定）をまち協が請け負い、職人氣質の腕前でスッキリと！
センターを訪れた人たちに、さわやかな気分を与えています。プロ並みの出来栄で、どこでも出張しますよとのことです。いかがですか！！

各自治会便り



宝来坂区

7月4日（日）午前7時より「河川愛護週間」に伴い、住民による立石川清掃作業を実施しました。85名の参加で、川底、路肩、歩道とすっかり美しくなり、通学生及び散歩者には、大変喜んでもらっています。



今後も各区の情報をできるだけ多く載せていきたいと思えます。各区のニュース、情報をお待ちしています

東寺区

東寺区では、小地域福祉活動の一環として、75歳以上の高齢者を対象に、年6回福祉サロンを開催しています。毎回講師を依頼し、①健康講話②軽運動③歌の時間の後、手作りお菓子でもてなす、などを行っています。

今回は、7月15日（木）午後1時30分より、集会所に集まっていたが、社会福祉協議会の長谷川さんからのお話や童謡・唱歌・簡単な体操（約1時間）と、茶話会として手作りゼリーを召し上がっていただきました。

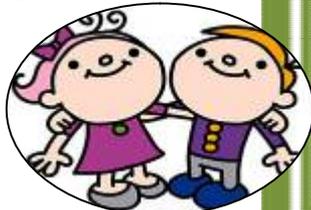
また、定期的に高齢者宅へ個別訪問し、日頃困っておられる事柄の解消のお手伝いも実施しています。

宮の森区

宮の森子供会

では、6月12日（土）夏見の「ポウル滋賀」で第一回「にこにこポーリング大会」を実施しました。

39人の出席のもと、終始和やかな雰囲気の中、熱戦が繰り広げられました。



石部南区

7月31日(土)石部南区の夏祭りが好天に恵まれて、住民約1,500人の参加で盛大に開催されました。

石部南まちづくりセンター前の広場を会場に各模擬店が立ち並び、舞台ではバルーンショー、バナナのたたき売り、歌謡ショーと参加者を楽しませながら、江州音頭による盆踊りで最後を締め、お楽しみ抽選会には会場が一杯になるほど盛況でした。



宮の森区



7月11日(日)午前8時より集会所前広場で、可搬式消火器による消火訓練(実地放水訓練)を行いました。

甲賀消防署 石部消防署員の指導による火災の発生時、初期消火が重要で、あわてず無理だと思ったらすぐ119番通報することが大切ということでした。

また、湖南省では平成23年6月まで

に「家庭内での火災警報機の設置が義務付けられることから、これに目を付けた「火災警報機悪徳訪問販売が横行に注意」との警告もありました。引き続き、今年度のクリーンキャンペーンを行いました。

6月27日(日)石部保険センター2階で、健康推進委員さんの指導により、「夏季料理教室を開催しました。

今回は、郷土料理：鯖の押し寿司(美松寿司)がメインで、豆腐の揚げボール、お吸い物、デザートは、フルーツと野菜ジュースの寒天というレシピでした。



次回は、11月21日(日)に冬季料理教室を計画しています。秋ごろには、ご案内を致しますので多数の参加をお待ちしております。



地域のトピックス

西寺地区

「湯立て神事」



七月二十一日(水)午後二時より三聖神社(権現)で「湯立て神事」が執り行われました。
 【由来】西寺地区の氏子衆の家内安全と家業繁栄を祈願、更に農家の農作物の豊作を祈願する神事だそうです。



宝来坂宝寿会の「いきいき百歳体操」



この六月から、湖南市高齢福祉介護課の指導により「いきいき百歳体操」を始めました。毎週の木曜日には、約十五人が集まり心地よい汗をかき、楽しい時間を過ごしました。



宝来坂かなかなサロン



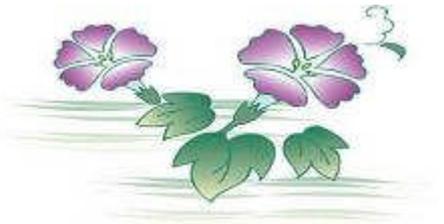
五月、「じゅらくの里」での、区民パターゴルフ大会には四十五人の参加がありました。六月には三十人の子供たちによる七夕飾り作りがあり、「天の川」にむけて、それに願い事を祈りました。



石部南スポーツ少年団野球部 (準優勝)



第四十一回滋賀県学童軟式野球大会
 五月十六日から第一回戦が始まり甲賀地区二十五校の予選強敵揃いの中、順調に勝ち進みました。
 六月六日、甲賀野球場にて決勝戦。相手チームは三雲東。これまでの地区大会では、いつも一点に涙をのんでいました。石部南七回の表、七対五の優勢でしたが、裏の三雲東の攻撃で同点。サドンデス九回裏、二点を先取され結局七対八で準優勝となりました。
 インタビュー
 ワンアウト満塁で内野ゴロ。悔しかった。今後は、チャンスを活かして行きたい。



◆天平浪漫（紫香楽宮と石部金山）

和銅3年（710年）から延暦13年（794年）平安遷都までの約80年間は奈良時代といい、天皇政治の黄金時代といわれ、聖武天皇の時代でもあった。

天平14年（742年）8月、今より1268年前になるが、聖武天皇は山城より紫香楽に離宮を造営された。

この頃は仏教を中心とした政治が盛んで天平15年9月、大仏造立を発願されこの地を帝都にするための働きかけをされて、天平16年（744年）11月には甲賀寺において大仏の体骨柱が建てられているが、この付近一帯で山火事が多発し、又、この年代には地震が頻繁に起こり工事が順調に進まなかった。山火事は何日も多くの出沒従事に不満を持つ人達の仕業ではないかとの疑いを持たれるほど多発したと伝えられている。

この様な状況の中、天平17年（745年）5月に平城京に遷都されて、紫香楽の大仏建立は中止となった。その間、約3年の離宮であった。

なぜ、聖武天皇はこの紫香楽の地に離宮を造営しようとしたのか？その、大きな要因の一つに山岳仏教がある。

今から、1300年以前には阿星山一標高693mを中心に東の飯道山、西の金勝山等に山岳仏教が栄え、神仏信仰の地となり多くの修験者が各地から山全体を道場として集まり山岳に5千坊の寺院坊が建ち並んでいたといわれる。聖武天皇はこういった多くの寺院が離宮の造営に守護の役割を果たしてくれる。との、思いがおありだったのであろう。多くの寺院より西の谷の観音堂（現在の常楽寺）を北鬼門の寺とし、離宮の守護寺としたとある。この紫香楽宮の甲賀寺や大仏創立には多くの資材を必要とし、付近一帯の山々からは木々が伐採され、鉱物関係の資材は石部金山から用達された。打釘を始め大仏造営に使用する鉱物は多量に必要となり、多くの採鉱夫が石部金山で働き、採掘に従事したのである。その当時この付近は金山村と呼ばれていたとある。この金山は石部に2箇所存在し、1箇所は五軒茶屋地先より西に入った所にあり金山を印す看板が建っているが現在、当時の鉱物採掘場所付近はコンクリート用採石場となり、近くまで寄る事ができない。又、もう1箇所は天狗谷という名称がついている。山の最高峰を少し下がった東南側にあり、私も10年前現場を訪れた。縦穴や横穴が何本か掘られた跡があり、又精錬された跡も残っている。ここには掘り出され精錬された岩石が、赤さびた色になって積み上げられたままになっている。何らかの原因があるであろう、その地には草も木も植物がはえていない。その現場への道のりは植物が生い茂り鬱蒼とした山道である。通行するのが困難なばかりか、今となっては、採掘の縦穴鉱道もどこにあるか容易にわからない。危険を伴うので、一人では行かない方がよい。

2007 夏

このつづきは、次回広報紙に連載します。お楽しみに！



石部南学区まちづくり協議会のホームページアドレス

<http://www.ishibe-minami.net/>